

ひろしまの 土地改良



2020年 第261号



ふるさとの田んぼと水 子ども絵画展2019 環境大臣賞
「ふる里の友達」 三三谷 真琴 (広島県福山市立多治米小学校5年生)

●第61回全国土地改良功労者等表彰 農業農村整備優良地区コンクール表彰 21世紀土地改良区創造運動表彰

第61回全国土地改良功労者等表彰、農業農村整備優良地区コンクール表彰、並びに21世紀土地改良区創造運動表彰は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から表彰式が中止となりました。

広島県からは1団体、2名が受賞され賞状と記念品が贈られました。

○全国土地改良功労者等表彰(水土里ネット会長表彰)

団体 銀章 庄原市西城町土地改良区

個人 元 広島県土地改良事業団体連合会理事 前 廿日市市長 眞野 勝弘 様
前 広島県土地改良事業団体連合会 総務企画課長 大王 一誠 様



庄原市西城町土地改良区 (銀章)

担い手によるキャベツの生産拡大に向けて ～「畑地化の推進及び生産性の向上」～

1 はじめに

キャベツはお好み焼きやサラダなど幅広い用途で使われる野菜ですが、加工業務用等で年間を通じて需要があるとともに、県内では広島市等の大きな消費地を抱えていることにより取扱量も多くなっています。

また、広島県は標高差が大きく、多様な気象条件に恵まれているため、南部から北部まで作付けし、各産地から順番に出荷していくリレー出荷ができれば、周年の安定供給が可能になり、農業の活性化につながります。

これらの理由から、広島県では加工・流通業者等の実需者ニーズに応じたキャベツ産地の形成・担い手の育成を目指して取り組んでいるところです。

しかし、県内消費における県内産キャベツのシェアは平成30年で約15%と低く、その課題として、キャベツ生産に適した、まとまりがありかつ排水性の良い農地を確保できていないことがあげられます。

2 農地の確保

本県の農地は水田の占める割合が高く区画が小さい畑地も多いことから、大規模に生産するためには、まとまりのある生産性の高い農地へ改良することが必要となります。このため、低利用農地の整備や、水田の排水性の改善等により必要とする農地を確保していくことが有効です。

(1) 農地の整備手法

① 遊休農地等の整備（大規模農業団地）

県内の戦後まもない時期に開拓した草地等では、担い手の高齢化等により、遊休化や低利用化が進行しています。

このため、農地整備事業により農地の大区画化や土層改良等を行い、大規模に農業生産を行うことができる環境をつくることにより、生産性を向上させ収量の安定化を図ります。



写真① 遊休農地の整備

② 水田の畑地化

県内の農地の7割以上は水田ですが、区画も比較的良いことから、水田を活用していくことが有効です。ただしキャベツの生産において、多雨による湿害等により、収量や品質が大きく影響を受けることから、排水性の改善等により生産を安定させることが求められています。



図① キャベツの生産量の推移



図② リレー出荷のイメージ

・排水性の改善例（表面水対策）

降雨によりキャベツの生育に必要な以上の水が流入する場合には、すみやかに額縁水路及び畝間排水で農地外に排除します。



図③ 水田の畑地化における表面水対策

また、土壤に浸透した過剰水を速やかに排除するため、地下水位を低下させる暗渠を設置することもあります。

（2）農地の整備による効果 ～(株)vegetaの事例～

生産性の高い畑地の整備により、県内各地で農地を確保しながら大規模な農業経営を実現する担い手も増えてきており、持続性のある地域農業に貢献しています。

こうした経営体の一例として(株)vegetaを紹介します。

(株)vegetaは平成6年1月に創業され、県北を中心に、庄原市高野町等の高地から尾道市因島まで標高差を生かし、県内各地でキャベツを栽培しています。

農地中間管理機構と連携してまとまった農地の確保を実現するとともに、地域と連携しながら、「日本型直接支払制度」を活用し、農地を守っていく取り組みも進めています。

<株式会社vegeta>

住 所 広島県庄原市東城町 代表者 谷口 浩一

面 積 キャベツ：延べ100ha 水耕野菜：施設1ha 青ネギ：5ha もち麦：25ha

従業員 17名

●大規模農業団地での営農について（代表者インタビュー）

大区画に整備された農地での生産は非常に効率が良いです。

また、整備に合わせ、排水対策や土壌改良をしているので安心して生産が進められます。現在スマート農業を進めていますが、このためにも大きな区画の圃場が必要です。お好み焼きに使うキャベツの生産をしてみなさんにたくさん食べてもらいたいです。



↑インタビュー
の動画は
こちら



写真④ (株)vegeta
谷口社長インタビュー



写真② 庄原市和南原地区の整備されたほ場でのキャベツ栽培



写真③ 機械化体系による営農

3 農地の整備（畑地化）を推進するための支援制度

これまで紹介してきた農地の整備（畑地化）を行う場合には、国の補助事業等を活用することができます。それぞれの事業は、整備する農地の規模や内容などにより、表①の通り複数のタイプの事業が用意されています。また事業に取り組む場合には、受益者や地権者にも整備費用の一部を負担していただくこととなりますが、中心となる担い手に農地を集め、集積割合を高めることにより、負担金を軽減できる制度もあります。

表① 農地の整備ができる主な国の補助事業の一例

	農地中間管理機構関連農地整備事業	農業競争力強化農地整備事業	農地耕作条件改善事業
主な事業要件	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理権を15年以上 ・担い手への集積80%以上 ・受益面積10ha(5ha)以上 ・収益性が20%以上向上 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手への集積50%以上 ・受益面積20ha(10ha)以上 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構の重点実施区域 ・農業者2者以上 ・事業費200万円以上 等
補助率	国：62.5%、県：27.5% 市町：10.0%	国：50(55)%、県：15% 市町及び受益者・地権者負担：35～30% 受益者や地権者負担の負担軽減対策〔促進費等〕 →中心経営体への集積の割合等により最大で12.5% 交付される。	
備考	※()は、過疎法や離島振興法など条件不利6法の指定地域		

上記2の(1)の①遊休農地等の整備であれば、表①の「農地中間管理機構関連農地整備事業」や「農業競争力強化農地整備事業」の活用が可能です。これら事業には受益面積が要件として設定されており、例えば過疎法などに指定された地域で「農地中間管理機構関連農地整備事業」に取り組む場合には、5ha以上のまとまりがあれば実施できます。

また、②水田の畑地化であれば、「農地耕作条件改善事業」により畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等、地域や担い手のニーズに対応したきめ細かな耕作条件改善が実施できます。また面積要件がないため、2者以上の農業者が参加すれば、比較的小規模な農地整備も可能となります。

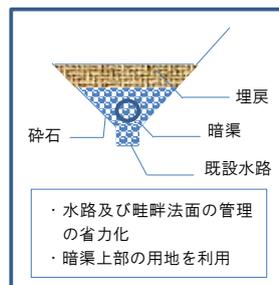


写真⑤ 農地耕作条件改善事業 実施地区(北広島町西宗)

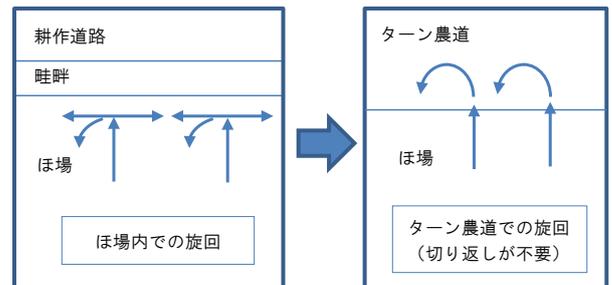
4 おわりに

近年、農業を含め様々な分野での人手不足の問題がクローズアップされている一方で、情報通信技術を活用したスマート農業への注目も集まっています。スマート農業では、データを活用・分析しながら生育状況をふまえた適期作業ができ、品質の向上と安定した収量を確保することができます。また、直進性をキープできる自動操舵型の農業機械を導入し省力化を図ることも可能となり人手不足の解消にもつながります。前述の(株)vegetaも大学等とコンソーシアムを構成し、スマート農業実証プロジェクトに取り組んでいます。

今後は、県内においてこうした技術の普及が見込まれ、技術の導入にあたっては通信環境の整備とともに、導入した農業機械が効率よく稼働できるよう水路の管渠化やターン農道などの整備も必要となってきます。



図④ 水路の管渠化



図⑤ ターン農道設置による旋回の効率化

今回紹介した農地の整備(畑地化)の推進は、こうした新たな動きも視野に入れながら農地の整備を進めていくことでもあり、担い手の経営を安定化させ、持続的な農業生産活動につながっていくものと考えています。

さらには、持続可能な産地形成や経営体の育成を通じて、就農意欲のある若者が地域に定着し地域から新しい産業を生み出していくことも期待されます。

農業農村整備事業を通じて農業の生産性が高まり、「担い手が将来の生活設計を描ける経営」が実現して活力ある中山間地域の創出につながるよう、広島県や広島県土地改良事業団体連合会も今後一層取り組んでまいります。

お問い合わせ先 広島県農林水産局農業基盤課 TEL 082-228-2157 FAX 082-228-1301
E-mail nounouki@pref.hiroshima.lg.jp

中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会

令和2年7月2日、島根県出雲市の出雲大社北島国造館「八雲会館」において、中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会が開催されました。

開会にあたり、水土里ネット島根の長岡秀人会長が、あいさつを述べられ、続いて、全国土地改良事業団体連合会の室本隆司専務理事（オンライン出席）、中国四国農政局の塩屋俊一局長、島根県農林水産部農村整備課の堀野章課長より来賓祝辞のあと議事に入りました。

議事では、第1号議案「農業農村整備推進の要望について」、第2号議案「本年度の事業計画について」が審議され、いずれも原案通り承認されました。併せて、令和3年度農業農村整備事業の予算編成と事業制度等に関する6つの要望提案内容について承認され、自由民主党、国会議員、財務省、農林水産省並びに中国四国農政局へ提案、要望する活動計画が決定されました。



ふるさとの田んぼと水 子ども絵画展2020 作品募集



応募資格：小学生以下
クラスや学校単位での共同作品も可

テーマ：「新発見！ぼくのわたしのふるさと自慢！」

応募締切：2020年9月11日（金）

応募先・お問い合わせ先

〒135-0064

東京都江東区青梅 1-1-20

ダイバーシティ東京

オフィスタワー17階

(株)フジアート内

「ふるさとの田んぼと水」

子ども絵画展 事務局

TEL：03-5520-1916

FAX：03-5520-1892

E-MAIL：midori@fujiaart.co.jp

主催：全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）

都道府県水土里ネット（都道府県土地改良事業団体連合会）

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.inakajin.or.jp 全国水土里ネット



いま 現在を全力投球!! 未来 小用環境保全会 ~

設立年月日：平成21年3月22日
所在地：庄原市小用町
農地面積：59ha
活動内容：草刈り、泥上げ、
植栽等の景観形成、
生態系保全、水質保全
農業用施設：農用地、水路、農道、ため池



浅水代かき（濁水流出防止）

■地域の概要

庄原市の東部に位置し、宮内川沿いに開けた山間農業地域で、県営ほ場整備事業（一般型）「小用地区」（昭和58年完工）で整備された水田地帯では、水稻を中心に、飼料作物やソバなどを栽培しており、集落内の農用地では牛を放牧するなど畜産農家と連携した営農展開をしています。

将来的な集落維持を考え、平成20年9月に農事組合法人「ファームおよう」を設立し、当時の代表者と現代表者を中心に農地・水・環境保全向上対策（現多面的機能支払交付金）の活動組織を立ち上げ、平成21年度から取り組みを始めました。

活動組織の中心母体である農事組合法人「ファームおよう」は、設立から10年が経過し、改めて地域活性化へのステップアップに向けた機運が高まり、小用地域でブランド米の販売を目指し取り組みを進めています。



ため池の点検風景



水路の目地詰め補修



水路の泥上げ作業

■取組内容

水路等の施設点検や見回りなどを通して、管理が不十分な箇所は、「ファームおよう」を中心に管理指導の周知徹底を行っています。また、地域の共同活動で水路の破損箇所の補修や鳥獣害防護柵（ワイヤーメッシュ）の補修、設置に取り組んでいます。

農村環境保全活動では、農作物の被害防止のためにヌートリアの駆除を行うとともに、セイタカアワダチソウの草刈りや、河川の生態系に配慮するため、水田の止水板を高くし濁水流出防止に取り組んでいます。

景観形成生活環境保全活動として、集落内の一斉清掃や花壇への花の植栽、コスモスの植栽を行っています。また環境にやさしい農業をテーマに、非農家に向けた広報資料の配布等、農村景観の維持、生態系保全の大切さを地域住民に理解してもらえるよう心がけています。



水門の管理



ワイヤーメッシュの補修作業



ヌートリアの駆除

■今後の展開

集落全域での地域共同活動では、農地周りの草刈りや、水路の泥上げ、農道等維持管理活動により、地域住民が集落の自然環境に関心を持って取り組むようになりました。

組織構成員の高齢化や非農業者の増加により、農地法面の草刈りや水路の泥上げ等、地域資源の保全管理活動への参加者が減少しているため、少人数で効率的に保全活動が行えるよう維持管理の省力化や低コスト化を図る必要があります。今後は集落内の農地を「ファームおよう」に集積し、経営規模の拡大を進めることで、日頃の維持管理活動の軽減を図りたいと考えています。

また、ほ場整備事業の完了から約40年が経過しているため、水路等の施設の老朽化が顕著になっており、継続的な維持補修に取り組む必要があります。



セイタカアワダチソウの草刈り



清掃活動風景



開花したコスモス

農地・水・環境 NEWS

広島県農地・水・環境保全協議会

■令和2年度から追加された「農地維持支払」の取組について

実践活動等の際には、安全な活動に努めるものとし、研修メニューに「機械の安全使用に関する研修」が追加されました。

○共同活動で使用する機械又は使用頻度が高い機械(刈払機)などの、安全使用に関する研修、講習会を開催又はそれらに参加する。

※全ての対象組織で、活動期間中に1回以上実施する。(令和元年度までに活動を開始し、令和2年度に変更や再認定を受けない組織も含む)



最優秀賞「桜咲くころ」



優秀賞「青一色の世界へ」

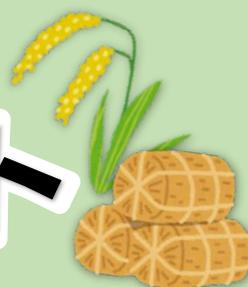


優秀賞「やさしく受けて」

第19回



ひろしまの農村 フォトコンテスト



写真は第18回「ひろしまの農村フォトコンテスト」入賞作品



広報委員会特別賞「壬生の初夏」



広報委員会特別賞「夏を見つけに」



審査委員会特別賞「山里の朝焼け」

応募締切

2020年

11月30日(月)

当日消印有効

～新型コロナウイルス感染症対策として、
3密を避けて撮影しましょう。～



最優秀賞

10,000円

1点

相当の県内特産品



優秀賞

5,000円

2点

相当の県内特産品

広報委員会特別賞

3,000円相当の県内特産品

10点

スマホ・デジカメから撮った
写真データの応募もOK!
1人何枚でも応募できます!



過去の入賞作品について
QRコードから読み取れます!
こちらからどうぞ



主催：ひろしま農業農村整備広報委員会
(広島県・広島県土地改良事業団体連合会)

季刊ひろしまの土地改良 第261号

令和2年8月20日

編集：ひろしま農業農村整備広報委員会
発行：広島県土地改良事業団体連合会
印刷：佐々木印刷株式会社

〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館
◆TEL (082) 502-7470 ◆FAX (082) 502-7480

◆http://www.hdn.or.jp

住みやすく豊かな村づくり
みどり
水土里ネットひろしま